静岡県労働者学習協会　会長　原田政信

最近の情勢について

1．暴走極まる安倍政権

a　施政方針演説

戦争法について「世界から支持され高く評価されている」、ＴＰＰについて「重要品目については関税撤廃の例外を確保しました」、東日本大震災について「明るい日差しが見えてきた」、アベノミクスについて「大きな果実を生み出した」などと独善性が際立ち、さらに「改憲は現実的段階に入った」と発言しました。

b　予算案

国民負担を増やす一方、もうかっている大企業を擁護し、軍拡を推進する内容となっています。法人実効税率が20％台に、また消費税が10％になり軽減税率分を引いても４・５兆円の国民負担なります。社会保障費の抑制で、物価上昇でも年金額の据え置き、入院食費の値上げ、診療報酬を引き下げとなっています。軍事については初の５兆円を突破しました。軍需産業は20社で１兆円を超える予算となっています。

2．アベノミクスの破綻

日経が１月に世論調査をしていますが、「アベノミクスを評価する」37％、「しない」42％、「アベノミクスで景気が良くなる」27％、「良くならない」49％となっています。

アベの頼みの綱として、株が大きな下落をしながら乱高下しています。株吊り上げ策も破綻をしてきて、それがマイナス金利にもつながっているのではないかと思います。輸出大企業は空前の利益を上げていますが、一方で国民の負担は重くなって、これから「アベノミクス不況」が到来するのではないかとも言われています。輸出量が増えているわけではなく、円安によって利益が出ているわけで、景気が良くなっているわけではありません。円安で物価上昇し、暮らしは一段と厳しくなっています。非正規労働者が４割を超え、実質賃金が低下しています。

3．従軍慰安婦問題は？

「慰安婦」問題について日韓合意されましたが、「安全保障合意」ではないかという見方もあります。元「慰安婦」や支援者の求めることというのは、事実を認め、法的責任を明確にし、政府が真摯に謝罪することですが、こういう内容ではなかったということです。なぜなら①彼らの頭越しの合意であった、②日本軍は「関与」ではなく中心になって進めたという捉え方がされていない、③安倍首相は直接本人たちに謝罪しない、④10億円は賠償ではなく人道上の観点から出すということからです。

4．２千万署名運動を

内閣の支持率が上昇していますが、憲法改悪を許さない運動として２千万署名は重要です。私たち自身が壁を打ち破って、保守の中にも入っていけば、選挙も勝利できると思います。

静岡県労働者学習協会
〒424-0105
静岡市清水区
山切45-18　多田
TEL 054-365-0433

平和・戦争・いのちを考える

浜松市平和委員会　事務局長　中谷信和

1月30日、浜松市積志協働センターにて「ストップ！戦争への道　学習会」が、静岡県労働者学習協会と西部地区労連の共催で開かれ、16名が参加しました。最初に西部地区労連の石川事務局長より挨拶があり、「日本平和大会イン富士山」のビデオを鑑賞後、中谷信和氏の講演を行いました。以下に講演の概略を紹介します。

1．はじめに

私の父は戦争に最期に徴兵された世代です。昭和20年、工業高校を卒業しまして、朝鮮の平壌で化学工場に働いていたんですけれど、そこで現地で徴兵されまして、南朝鮮へ兵隊で行ったんです。それで助かったんですけれど、もしそのまま北にいたらシベリアへ行って、もしかしたら私も生まれていなかったかもしれないです。

妻の父母は満州に行きまして、妻の父も徴兵されたんです。敗戦になって、兵隊ですからシベリア送りですけれど、父は部下を連れて脱走して、両親一緒に帰ってきて、妻が生まれたわけです。脱走していなかったら、妻も生まれていなかったかもしれません。

2．平和って何？

安倍首相は平和を守るために戦争をすると言うんですけれど、今の日本は平和と戦争が入り混じっている状態、半平和、言い換えれば、半戦争の状態と思います。憲法で武力を持たないことを宣言しているにもかかわらず、自衛隊が存在している、つまり平和と戦争がせめぎ合いをしている状態が続いてきたということです。今になって、戦争の方が力をつけてきて、平和が危うい状態が来ていると思います。

安倍首相は積極的平和主義と言うんですけれど、積極的平和主義とは本来、戦争をするような平和主義ではなくて、戦争を起こさせないような社会を作ることが積極的の意味ですよね。

それはどういう社会かというと、差別・格差・いじめ・ハラスメント・暴力のない社会のことで、逆にこれらが戦争の土壌を作るということです。今の日本の労働者の格差は、戦前に近づいていると言われています。

3．戦争って何？

戦争というのは端的に言って、殺人と破壊です。なぜこれが合法になるのかというと、それは国家と法律によって保障されているからです。だからアメリカやイギリスやフランスがシリア、ISを爆撃しても、それは犯罪ではないんだというのが国家の論理ですね。

なぜそんなことが起きるのかというと、権利という言葉はひっくり返すと利権

です。権利は万人が持っているんですけれど、利権は少数者、一握りの人が甘い汁を吸って、そのことを保障するのが戦争なんですよね。

戦争をするために必要なものは何だと思いますか。まず第一にモノ、人、金、モノは軍隊です。それから第二に戦争法、第三に戦争を支持する世論・運動です。

戦争法の特徴は（すきまのない）シームレスということです。これは何かというと、戦場と非戦場、平時と戦時、自国と他国（アメリカ）です。

4．「対テロ戦争の時代」なのでしょうか？

今の戦争は「対テロ戦争」と言うんですが、これも非常におかしな言葉で、テロリストは犯行を犯した時に、その犯罪を警察が捜査して捕らえて、裁判にかけてというのが本来のテロリストに対する正しい対応だと思います。

ところが今テロリストが何かやると、爆撃するんですよ。これはアメリカが一番の悪例を作ったので、パリでテロリストがテロを敢行すると、空爆するわけです。９・１１同時多発テロの後、10月にアフガニスタンを爆撃します。それ以来、15年も戦争が続いています。

5．日本がした過去の戦争を考える

戦前は「満蒙は日本の生命線」という言葉が、日本の民の中に浸透していたわけです。それと同じように今「石油は日本の生命線」ということで、そのために中東まで行くわけです。

ジブチに海賊対策という

ことで、自衛隊が行ったわけですが、第二次安倍内閣でこれを恒久化しようと言い出して、非常に基地が強化されています。

戦争法を廃止する運動と、発動させない運動の両方をやっていかないといけないと思います。

6．「いのちの重み」をまもるために

「いのちの重み」は「いのちの軽さ」と関係します。いのちに格差があってはいけないと思います。自衛隊員が海外で戦死したときには９千万円が払われますが、自衛隊員が殺した人はいくら出るんですかというと、全然出ないです。アメリカやロシアの空

爆で死んだ人にはお金はゼロです。戦前も軍人には恩給が付きますが、空襲で死んだ人はゼロです。

最近の若者のスローガンで「微力だが無力ではない」というのがありますが、自分で考えてやれることをやろうと、みんなで民主的に工夫をして、平和運動も進めて行きたいと思っています。

第52回学習組織全国連絡会議の報告

小見山正博

２０１６年１月23日、24日、全労連会館において、第52回学習組織全国連絡会議が開催され、21組織25名が参加しました。講演として、「戦争法廃止の国民連合政府をめぐって」笠井亮氏（日本共産党衆議院議員）と、「新しい段階の市民運動と全労連のたたかい－参議院選挙で安倍政権をおいつめるために」小田川義和氏（全労連議長）が行われました。

労働者教育協会からは、次の４点の提起がありました。①学習の力で国民運動を発展させ新しい政治を、②全国学習交流集会inヨコハマの成功を、③学習の友「お試し」を活用し学習組織独自の拡大目標をやりとげよう、④勤労者通信大学「ガイダンス」運動にとりくみ２０００人受講を。

全体討論での各地からの発言で、特徴的なものを紹介します。

「市民革命的な状況と言われているが、全労連の労組内でも職場からの決起ができていない。政治闘争を職場からどう作り上げていくのか、学習を職場に根付かせる活動が必要だ。」

「退職組があり「友」は、新しい読者と入れ替え期である。今は労組幹部も学習していかないと広がりができない。」

「今の大学生は、①ネットで情報はいっぱいあるが何が正しいかわからない、②相談する人がいない、③金と時間が無いということが共通している。」

月刊誌『学習の友』を。あなたの労働組合、民主団体の会議、学習会などの場で活用してみませんか？３ヶ月間、無料でお試しキャンペーンを行っています。

勤労者通信大学2016年度募集

勤労者通信大学は、1968年に創設され、これまでおよそ28万人が受講した、通信制の働く仲間の大学です。次の３コースがあります。

特に憲法コースは、戦争法廃止と憲法改悪に反対するためにも重要なコースです。

○憲法コース：戦争する国づくりを許さず、平和な日本を
○労働組合コース：人間らしく生き、働ける社会と職場を
○基礎コース：流されず、あきらめずに、しっかりと生きる力を

【９月まで受講を受け付けています 】